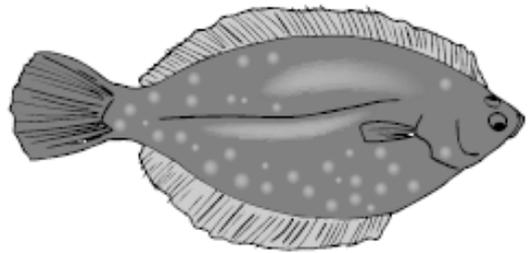


マガレイ

日本海海域

Pleuronectes herzensteini

地方名
あかがしら、くちぼそ、あかがれい（陸奥湾、日本海）



生態

寿命：約10歳
 成熟：2歳（オス10.4cm、メス13.0cm）以上
 産卵期：2月～7月で北ほど遅く、本県日本海では4月、陸奥湾では5月
 産卵場：水深15～70mの砂域から砂泥域
 分布：サハリン、千島、瀬戸内海、山陰地方
 生態：通常は水深150m以浅の沿岸の砂域から砂泥域に生息。食性はゴカイ、二枚貝、ヨコエビ、クモヒトデ類など。

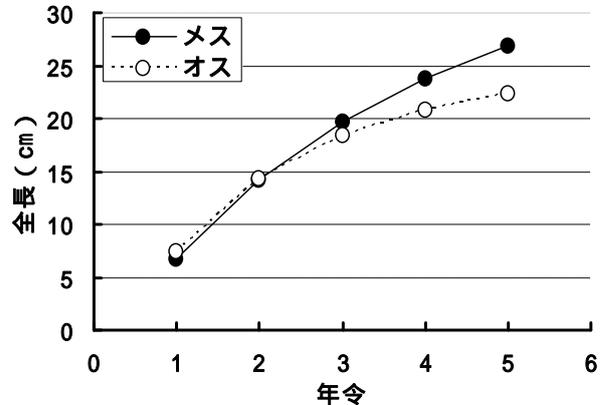


図 青森県におけるマガレイの成長

主な漁業

底建網、刺網、底びき網で漁獲。主漁期は1月～3月。

資源評価

青森県日本海での漁獲量は平成5年の96トンを超えて減少し、近年は約30～40トンで推移している。

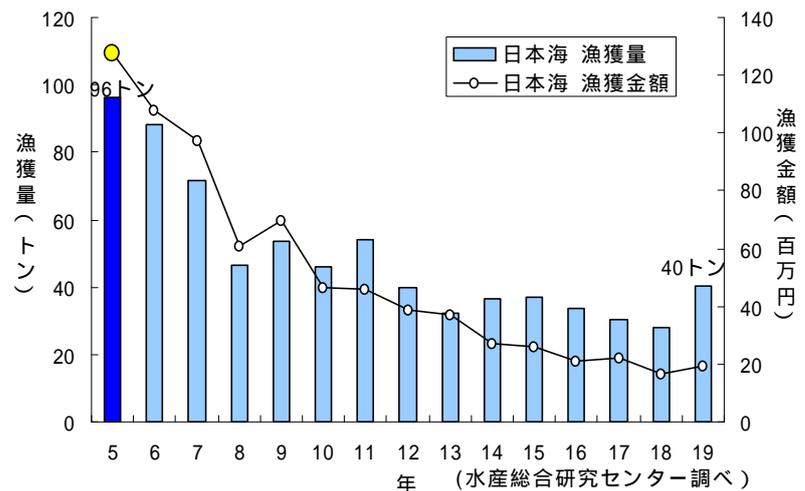


図 青森県マガレイの漁獲量及び漁獲金額の推移

資源を上手に利用するために



資源管理計画（平成6年3月）

- かわいさし網目合規制（3.5寸以上）の徹底、三枚網及び留網禁止などを定めた。日本海北部マガレイ、八タハタ資源回復計画（平成15年7月水産庁）
- 小型定置網漁業（底建網漁業を含む。）による全長15cm未満個体の再放流を定めた。上記の取り組みを継続することが必要